

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	国保日高総合病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	
				病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,637 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	2	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	61.4	67.1	70.3
感染症	-	-	-	-
計	300	61.4	67.1	70.3
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	963,579	
決算規模（千円）	527,013,741	
標準財政規模（千円）	296,271,096	
財政力指数	0.32835	
経常収支比率（%）	93.1	
健全化 判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.8
	将来負担比率（%）	197.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,259,750			
1 経常収益	2,259,750			
(1) 医業収益	1,375,894			
入院収益	1,158,683			
外来収益	132,136			
診療収入計	1,290,819			
その他医業収益	85,075			
(うち他会計負担金)	81,214			
(2) 医業外収益	883,856			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	532,072			
(うち長期前受金戻入)	21,300			
(うち資本費繰入収益)	326,662			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,121,902			
2 経常費用	2,121,601			
(1) 医業費用	2,049,927			
職員給与費	1,419,554	103.2	56.0	96.0
材料費	82,381	6.0	24.1	8.6
(うち薬品費)	61,655	4.5	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,443	1.2	11.1	1.0
減価償却費	212,515	15.4	9.2	12.5
経費	332,797	24.2	23.2	34.0
(うち委託料)	215,383	15.7	11.3	16.5
研究研修費	2,308			
資産減耗費	372			
(2) 医業外費用	71,674			
(うち支払利息)	67,453	4.9	1.6	3.2
(3) 特別損失	301			
損益				
経常損益	138,149			
純損益	137,848			
累積欠損金	1,054,723			
経常収支比率	106.5		98.2	100.0
医業収支比率	67.1		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	44.6		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	77.6		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,636,305
1 固定資産	3,340,238
(1) 有形固定資産	3,340,103
(2) 無形固定資産	135
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	296,067
(1) 現金及び預金	75,427
(2) 未収金及び未収収益	221,091
(3) 貸倒引当金（ ）	13,641
(4) 貯蔵品	13,190
3 繰延資産	-
負債合計	4,624,315
1 固定負債	3,799,568
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,791,145
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,423
2 流動負債	536,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,826
(6) リース債務	2,364
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	86,542
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,326
(1) 長期前受金	828,962
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	540,636
資本合計	-988,010
1 資本金	64,213
2 剰余金	-1,052,223
(1) 資本剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-1,054,723
負債・資本合計	3,636,305
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	988,010
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	699,684
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	63.2
修正医業収支金額（千円）	1,294,680

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	584,307	613,286
資本勘定繰入	208,704	330,671
計	793,011	943,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	76.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	海南市
	病院名	海南医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,377 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	14	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	150	80.9	80.7	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	80.9	80.7	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.9	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	51,860	
決算規模(千円)	23,489,935	
標準財政規模(千円)	13,810,087	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	79.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,822,781			
1 経常収益	3,822,781			
(1) 医業収益	3,475,222			
入院収益	2,201,953			
外来収益	870,582			
診療収入計	3,072,535			
その他医業収益	402,687			
(うち他会計負担金)	211,780			
(2) 医業外収益	347,559			
(うち国・都道府県補助金)	57			
(うち他会計補助・負担金)	250,604			
(うち長期前受金戻入)	44,783			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,731,637			
2 経常費用	3,731,637			
(1) 医業費用	3,554,894			
職員給与費	1,910,707	55.0	56.0	61.8
材料費	722,011	20.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	444,375	12.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	277,636	8.0	11.1	8.2
減価償却費	250,919	7.2	9.2	10.4
経費	657,076	18.9	23.2	29.9
(うち委託料)	219,352	6.3	11.3	12.9
研究研修費	9,823			
資産減耗費	4,358			
(2) 医業外費用	176,743			
(うち支払利息)	32,628	0.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	91,144			
純損益	91,144			
累積欠損金	4,198,044			
経常収支比率	102.4		98.2	96.7
医業収支比率	97.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	90.1		86.0	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,294,299
1 固定資産	3,722,101
(1) 有形固定資産	3,576,123
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	145,610
2 流動資産	572,198
(1) 現金及び預金	42,574
(2) 未収金及び未収収益	507,448
(3) 貸倒引当金( )	1,653
(4) 貯蔵品	23,399
3 繰延資産	-
負債合計	4,187,643
1 固定負債	2,517,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,943,619
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	250,000
(6) 引当金	322,772
(7) リース債務	713
2 流動負債	706,866
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,941
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,942
(6) リース債務	1,697
(7) 一時借入金	260,000
(8) 未払金及び未払費用	211,601
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	963,673
(1) 長期前受金	1,237,601
(2) 長期前受金収益化累計額( )	273,928
資本合計	106,656
1 資本金	4,285,874
2 剰余金	-4,179,218
(1) 資本剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-4,198,044
負債・資本合計	4,294,299
不良債務	39,727
実質資金不足額	39,727
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収支金額(千円)	3,263,442

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	462,384	462,384
資本勘定繰入	37,103	37,103
計	499,487	499,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	39,727	1.1
29 年度	360,894	11.2
28 年度	349,673	11.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	120.8
健全化法上の資金不足額(千円)	39,727
健全化法上の資金不足比率(%)	1.1
地財法上の資金不足額(千円)	39,727
地財法上の資金不足比率(%)	1.1

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	橋本市
	病院名	橋本市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,410 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災 輪
診療科数	25	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	86.6	85.2	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	86.6	85.2	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.0	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	63,621	
決算規模(千円)	25,040,908	
標準財政規模(千円)	16,307,754	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	109.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,780,614			
1 経常収益	7,747,112			
(1) 医業収益	7,000,592			
入院収益	4,886,803			
外来収益	1,782,960			
診療収入計	6,669,763			
その他医業収益	330,829			
(うち他会計負担金)	91,203			
(2) 医業外収益	746,520			
(うち国・都道府県補助金)	7,313			
(うち他会計補助・負担金)	319,027			
(うち長期前受金戻入)	281,096			
(うち資本費繰入収益)	69,783			
(3) 特別利益	33,502			
(うち他会計繰入金)	40			
総費用	7,764,277			
2 経常費用	7,742,349			
(1) 医業費用	7,333,838			
職員給与費	3,947,003	56.4	56.0	57.1
材料費	1,491,093	21.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	711,040	10.2	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	780,053	11.1	11.1	11.4
減価償却費	588,208	8.4	9.2	9.5
経費	1,292,724	18.5	23.2	22.0
(うち委託料)	834,515	11.9	11.3	10.8
研究研修費	14,662			
資産減耗費	148			
(2) 医業外費用	408,511			
(うち支払利息)	150,971	2.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	21,928			
損益				
経常損益	4,763			
純損益	16,337			
累積欠損金	3,461,511			
経常収支比率	100.1		98.2	96.7
医業収支比率	95.5		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	94.8		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,677,064
1 固定資産	7,550,077
(1) 有形固定資産	7,328,680
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	221,397
2 流動資産	2,126,987
(1) 現金及び預金	994,042
(2) 未収金及び未収収益	1,114,094
(3) 貸倒引当金( )	1,475
(4) 貯蔵品	20,326
3 繰延資産	-
負債合計	9,698,575
1 固定負債	7,837,127
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,439,011
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	387,266
(7) リース債務	10,850
2 流動負債	1,766,597
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	603,514
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	179,066
(6) リース債務	5,395
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	452,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	94,851
(1) 長期前受金	620,843
(2) 長期前受金収益化累計額( )	525,992
資本合計	-21,511
1 資本金	2,802,467
2 剰余金	-2,823,978
(1) 資本金剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-3,461,011
負債・資本合計	9,677,064
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	21,511
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.2
修正医業収支金額(千円)	6,909,389

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	528,328	410,270
資本勘定繰入	350,538	347,648
計	878,866	757,918

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	有田市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,675 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 感 災 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	153	74.9	67.6	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	157	73.0	65.9	58.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	16.0	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	28,470	
決算規模(千円)	12,446,789	
標準財政規模(千円)	7,239,669	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	102.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.2
修正医業収支金額(千円)	2,431,489

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,921,866			
1 経常収益	2,921,866			
(1) 医業収益	2,550,732			
入院収益	1,726,512			
外来収益	575,587			
診療収入計	2,302,099			
その他医業収益	248,633			
(うち他会計負担金)	119,243			
(2) 医業外収益	371,134			
(うち国・都道府県補助金)	7,178			
(うち他会計補助・負担金)	255,904			
(うち長期前受金戻入)	15,214			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,929,120			
2 経常費用	2,929,120			
(1) 医業費用	2,757,359			
職員給与費	1,688,851	66.2	56.0	61.8
材料費	303,437	11.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	117,131	4.6	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,171	7.2	11.1	8.2
減価償却費	164,968	6.5	9.2	10.4
経費	592,520	23.2	23.2	29.9
(うち委託料)	305,007	12.0	11.3	12.9
研究研修費	7,583			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	171,761			
(うち支払利息)	36,789	1.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-7,254			
純損益	-7,254			
累積欠損金	4,032,910			
経常収支比率	99.8		98.2	96.7
医業収支比率	92.5		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,875,452
1 固定資産	2,278,314
(1) 有形固定資産	2,259,195
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	18,817
2 流動資産	597,138
(1) 現金及び預金	170,907
(2) 未収金及び未収収益	399,205
(3) 貸倒引当金( )	10,181
(4) 貯蔵品	36,282
3 繰延資産	-
負債合計	2,202,204
1 固定負債	1,076,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,369
(2) その他の企業債	6,166
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	79,753
(7) リース債務	121,783
2 流動負債	963,713
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	179,316
(2) その他の企業債	12,301
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	93,499
(6) リース債務	25,740
(7) 一時借入金	450,000
(8) 未払金及び未払費用	190,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	162,420
(1) 長期前受金	324,712
(2) 長期前受金収益化累計額( )	162,292
資本合計	673,248
1 資本金	4,486,936
2 剰余金	-3,813,688
(1) 資本剰余金	219,222
(2) 利益剰余金	-4,032,910
負債・資本合計	2,875,452
不良債務	187,259
実質資金不足額	187,259
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	375,147	375,147
資本勘定繰入	147,131	147,131
計	522,278	522,278

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	187,259	7.3
29年度	161,354	7.5
28年度	261,913	13.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	158.1
健全化法上の資金不足額(千円)	29,792
健全化法上の資金不足比率(%)	1.1
地財法上の資金不足額(千円)	193,425
地財法上の資金不足比率(%)	7.5

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	新宮市
	病院名	新宮市立医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,878 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地
診療科数	19	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	83.9	84.4	81.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	0.3	2.8
計	304	82.8	83.3	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.9	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	29,331	
決算規模(千円)	17,198,377	
標準財政規模(千円)	9,229,227	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.7
	将来負担比率(%)	57.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,053,251			
1 経常収益	7,012,062			
(1) 医業収益	6,377,385			
入院収益	4,202,560			
外来収益	1,827,577			
診療収入計	6,030,137			
その他医業収益	347,248			
(うち他会計負担金)	127,421			
(2) 医業外収益	634,677			
(うち国・都道府県補助金)	11,777			
(うち他会計補助・負担金)	240,977			
(うち長期前受金戻入)	308,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,189			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,101,508			
2 経常費用	7,100,685			
(1) 医業費用	6,764,628			
職員給与費	3,395,436	53.2	56.0	57.1
材料費	1,389,968	21.8	24.1	23.9
(うち薬品費)	715,632	11.2	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	673,852	10.6	11.1	11.4
減価償却費	541,885	8.5	9.2	9.5
経費	1,407,459	22.1	23.2	22.0
(うち委託料)	789,226	12.4	11.3	10.8
研究研修費	23,288			
資産減耗費	6,592			
(2) 医業外費用	336,057			
(うち支払利息)	104,179	1.6	1.6	1.6
(3) 特別損失	823			
損益				
経常損益	-88,623			
純損益	-48,257			
累積欠損金	335,561			
経常収支比率	98.8		98.2	96.7
医業収支比率	94.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	93.6		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,084,613
1 固定資産	8,128,350
(1) 有形固定資産	8,127,730
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,956,263
(1) 現金及び預金	1,264,827
(2) 未収金及び未収収益	1,639,393
(3) 貸倒引当金( )	6,745
(4) 貯蔵品	40,895
3 繰延資産	-
負債合計	8,648,466
1 固定負債	6,383,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,867,404
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	516,556
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,593,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	794,373
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	187,165
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	583,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	671,153
(1) 長期前受金	4,660,861
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,989,708
資本合計	2,436,147
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	468,353
(1) 資本金剰余金	726,285
(2) 利益剰余金	-257,932
負債・資本合計	11,084,613
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.4
修正医業収支金額(千円)	6,249,964

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	742,132	368,398
資本勘定繰入	475,869	470,732
計	1,218,001	839,130

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	和歌山県
		市町村・組合名	高野町
		病院名	高野山病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,352	
決算規模(千円)	23,002,708	
標準財政規模(千円)	2,004,504	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	958			
1 経常収益	958			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	958			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	958			
2 経常費用	958			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	-	-	9.2	13.4
経費	-	-	23.2	47.5
(うち委託料)	-	-	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	958			
(うち支払利息)	958	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	20,929			
経常収支比率	100.0		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	すさみ町
	病院名	国保すさみ病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,056 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	48	27.2	33.6	32.8
療養	24	61.9	80.6	54.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	38.8	49.3	40.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.8	22.2

設立団体の状況		
人口(人)	4,127	
決算規模(千円)	4,426,197	
標準財政規模(千円)	2,356,545	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.8
修正医業収支金額(千円)	509,310

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	751,243			
1 経常収益	751,243			
(1) 医業収益	548,998			
入院収益	202,908			
外来収益	291,315			
診療収入計	494,223			
その他医業収益	54,775			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	202,245			
(うち国・都道府県補助金)	1,062			
(うち他会計補助・負担金)	186,812			
(うち長期前受金戻入)	8,669			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	809,214			
2 経常費用	809,214			
(1) 医業費用	785,942			
職員給与費	465,301	84.8	56.0	71.8
材料費	171,033	31.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	143,902	26.2	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,386	3.7	11.1	5.6
減価償却費	31,776	5.8	9.2	12.2
経費	116,119	21.2	23.2	31.2
(うち委託料)	42,835	7.8	11.3	12.3
研究研修費	1,713			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,272			
(うち支払利息)	808	0.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-57,971			
純損益	-57,971			
累積欠損金	554,707			
経常収支比率	92.8		98.2	97.1
医業収支比率	69.9		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	41.3		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	64.8		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	583,742
1 固定資産	398,773
(1) 有形固定資産	398,452
(2) 無形固定資産	321
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	184,969
(1) 現金及び預金	103,602
(2) 未収金及び未収収益	70,752
(3) 貸倒引当金( )	374
(4) 貯蔵品	10,989
3 繰延資産	-
負債合計	714,572
1 固定負債	446,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,071
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	374,165
(7) リース債務	-
2 流動負債	77,401
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,655
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,478
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,268
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	190,935
(1) 長期前受金	348,035
(2) 長期前受金収益化累計額( )	157,100
資本合計	-130,830
1 資本金	294,945
2 剰余金	-425,775
(1) 資本金剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-544,707
負債・資本合計	583,742
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	130,830
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,536	226,500
資本勘定繰入	12,573	23,500
計	347,109	250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	那智勝浦町
				病院名	温泉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	120	82.3	73.0	73.8
療養	-	-	60.7	66.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	82.3	68.1	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		27.4	18.1	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	15,682	
決算規模(千円)	9,019,849	
標準財政規模(千円)	4,902,177	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	42.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.8
修正医業収支金額(千円)	1,593,308

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,021,997			
1 経常収益	1,885,651			
(1) 医業収益	1,637,602			
入院収益	1,135,041			
外来収益	401,837			
診療収入計	1,536,878			
その他医業収益	100,724			
(うち他会計負担金)	44,294			
(2) 医業外収益	248,049			
(うち国・都道府県補助金)	130			
(うち他会計補助・負担金)	215,118			
(うち長期前受金戻入)	14,132			
(うち資本費繰入収益)	7,387			
(3) 特別利益	136,346			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,323,672			
2 経常費用	1,946,685			
(1) 医業費用	1,835,946			
職員給与費	1,187,021	72.5	56.0	61.8
材料費	189,001	11.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	90,116	5.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	72,871	4.4	11.1	8.2
減価償却費	32,284	2.0	9.2	10.4
経費	422,466	25.8	23.2	29.9
(うち委託料)	201,602	12.3	11.3	12.9
研究研修費	5,174			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	110,739			
(うち支払利息)	15,489	0.9	1.6	1.7
(3) 特別損失	376,987			
損益				
経常損益	-61,034			
純損益	-301,675			
累積欠損金	950,625			
経常収支比率	96.9		98.2	96.7
医業収支比率	89.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	83.5		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,530,204
1 固定資産	5,135,744
(1) 有形固定資産	4,929,137
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	204,925
2 流動資産	394,460
(1) 現金及び預金	133,654
(2) 未収金及び未収収益	262,623
(3) 貸倒引当金( )	12,753
(4) 貯蔵品	9,046
3 繰延資産	-
負債合計	5,804,844
1 固定負債	3,900,539
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,293,999
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	605,877
(7) リース債務	663
2 流動負債	300,935
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	122,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	78,548
(6) リース債務	2,695
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,552
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,603,370
(1) 長期前受金	1,684,165
(2) 長期前受金収益化累計額( )	80,795
資本合計	-274,640
1 資本金	539,294
2 剰余金	-813,934
(1) 資本金剰余金	136,691
(2) 利益剰余金	-950,625
負債・資本合計	5,530,204
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	274,640
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	161,392	259,412
資本勘定繰入	39,111	43,128
計	200,503	302,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	串本町
				病院名	くしもと町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,917 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	90	72.0	81.5	74.4
療養	40	72.2	73.3	61.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	72.0	79.0	70.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	20.8	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	16,558	
決算規模(千円)	10,413,877	
標準財政規模(千円)	6,056,771	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	66.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,985,828			
1 経常収益	1,985,828			
(1) 医業収益	1,491,103			
入院収益	882,061			
外来収益	491,633			
診療収入計	1,373,694			
その他医業収益	117,409			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	494,725			
(うち国・都道府県補助金)	219			
(うち他会計補助・負担金)	411,120			
(うち長期前受金戻入)	71,832			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,112,960			
2 経常費用	2,112,960			
(1) 医業費用	2,033,953			
職員給与費	992,713	66.6	56.0	61.8
材料費	302,139	20.3	24.1	17.7
(うち薬品費)	148,785	10.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	127,108	8.5	11.1	8.2
減価償却費	187,543	12.6	9.2	10.4
経費	542,746	36.4	23.2	29.9
(うち委託料)	258,710	17.4	11.3	12.9
研究研修費	8,028			
資産減耗費	784			
(2) 医業外費用	79,007			
(うち支払利息)	22,810	1.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-127,132			
純損益	-127,132			
累積欠損金	127,132			
経常収支比率	94.0		98.2	96.7
医業収支比率	73.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	22.7		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	72.6		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,327,039
1 固定資産	3,067,046
(1) 有形固定資産	3,065,151
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	100
2 流動資産	259,993
(1) 現金及び預金	34,026
(2) 未収金及び未収収益	244,301
(3) 貸倒引当金( )	42,307
(4) 貯蔵品	23,973
3 繰延資産	-
負債合計	3,248,009
1 固定負債	1,843,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,553,286
(2) その他の企業債	238,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,668
(7) リース債務	-
2 流動負債	468,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,961
(2) その他の企業債	3,134
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	120,000
(8) 未払金及び未払費用	98,482
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	935,472
(1) 長期前受金	1,470,519
(2) 長期前受金収益化累計額( )	535,047
資本合計	79,030
1 資本金	133,754
2 剰余金	-54,724
(1) 資本金剰余金	72,208
(2) 利益剰余金	-126,932
負債・資本合計	3,327,039
不良債務	41,829
実質資金不足額	41,829
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収支金額(千円)	1,451,415

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,012	450,808
資本勘定繰入	27,429	89,651
計	197,441	540,459

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	41,829	2.8
29 年度	235,752	14.9
28 年度	203,765	13.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.5
健全化法上の資金不足額(千円)	280,629
健全化法上の資金不足比率(%)	18.8
地財法上の資金不足額(千円)	280,629
地財法上の資金不足比率(%)	18.8

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院 組合
				病院名	国保野上厚生総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,938 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	66.6	73.9	61.1
療養	54	80.4	84.7	81.6
結核	-	-	-	-
精神	100	91.6	94.0	90.6
感染症	-	-	-	-
計	254	79.4	84.1	77.1
平均在院日数（一般病床のみ）		18.5	17.6	20.0

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.4
修正医業収支金額（千円）	2,054,537

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,875,007			
1 経常収益	2,875,007			
(1) 医業収益	2,092,528			
入院収益	1,528,311			
外来収益	415,925			
診療収入計	1,944,236			
その他医業収益	148,292			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	782,479			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	618,698			
(うち長期前受金戻入)	18,747			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,102,142			
2 経常費用	3,096,862			
(1) 医業費用	2,761,305			
職員給与費	1,698,179	81.2	56.0	59.3
材料費	273,203	13.1	24.1	19.3
(うち薬品費)	141,905	6.8	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,754	3.8	11.1	9.2
減価償却費	255,440	12.2	9.2	10.3
経費	530,032	25.3	23.2	27.6
(うち委託料)	199,595	9.5	11.3	12.3
研究研修費	3,353			
資産減耗費	1,098			
(2) 医業外費用	335,557			
(うち支払利息)	64,123	3.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	5,280			
損益				
経常損益	-221,855			
純損益	-227,135			
累積欠損金	2,748,647			
経常収支比率	92.8		98.2	96.7
医業収支比率	75.8		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	71.6		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	4,819,596
1 固定資産	4,305,626
(1) 有形固定資産	4,255,331
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	50,149
2 流動資産	513,970
(1) 現金及び預金	171,015
(2) 未収金及び未収収益	331,078
(3) 貸倒引当金（ ）	561
(4) 貯蔵品	12,438
3 繰延資産	-
負債合計	4,473,755
1 固定負債	3,423,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,065,731
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	157,872
(7) リース債務	-
2 流動負債	779,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	244,475
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	131,167
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	93,103
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	270,989
(1) 長期前受金	565,595
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	294,606
資本合計	345,841
1 資本金	2,982,985
2 剰余金	-2,637,144
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,637,144
負債・資本合計	4,819,596
不良債務	20,718
実質資金不足額	20,718
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	656,689	656,689
資本勘定繰入	185,024	110,018
計	841,713	766,707

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	20,718	1.0
29年度	85,614	3.9
28年度	173,783	8.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	131.4
健全化法上の資金不足額（千円）	20,718
健全化法上の資金不足比率（%）	0.9
地財法上の資金不足額（千円）	20,718
地財法上の資金不足比率（%）	0.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合
	病院名	公立那賀病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,708 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	80.7	85.9	79.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	79.7	84.7	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	16.8	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収支金額(千円)	6,346,949

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,292,435			
1 経常収益	7,292,435			
(1) 医業収益	6,503,170			
入院収益	4,150,913			
外来収益	1,983,655			
診療収入計	6,134,568			
その他医業収益	368,602			
(うち他会計負担金)	156,221			
(2) 医業外収益	789,265			
(うち国・都道府県補助金)	17,832			
(うち他会計補助・負担金)	331,158			
(うち長期前受金戻入)	189,120			
(うち資本費繰入収益)	136,142			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,358,173			
2 経常費用	7,358,173			
(1) 医業費用	6,972,174			
職員給与費	3,303,150	50.8	56.0	57.1
材料費	1,652,271	25.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	899,104	13.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	696,981	10.7	11.1	11.4
減価償却費	502,763	7.7	9.2	9.5
経費	1,460,698	22.5	23.2	22.0
(うち委託料)	588,661	9.1	11.3	10.8
研究研修費	19,070			
資産減耗費	34,222			
(2) 医業外費用	385,999			
(うち支払利息)	121,676	1.9	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-65,738			
純損益	-65,738			
累積欠損金	4,204,581			
経常収支比率	99.1		98.2	96.7
医業収支比率	93.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	92.5		86.0	85.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,054,342
1 固定資産	8,625,869
(1) 有形固定資産	8,589,392
(2) 無形固定資産	807
(3) 投資その他の資産	35,670
2 流動資産	2,428,473
(1) 現金及び預金	1,281,128
(2) 未収金及び未収収益	1,060,827
(3) 貸倒引当金( )	14,680
(4) 貯蔵品	101,095
3 繰延資産	-
負債合計	7,890,838
1 固定負債	5,711,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,711,225
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,442,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	857,339
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	199,527
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	374,096
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	737,276
(1) 長期前受金	1,948,538
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,211,262
資本合計	3,163,504
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-4,075,665
(1) 資本剰余金	128,916
(2) 利益剰余金	-4,204,581
負債・資本合計	11,054,342
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	751,858	487,379
資本勘定繰入	492,691	490,823
計	1,244,549	978,202

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	和歌山県
	市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合
	病院名	国保日高総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,072 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災
診療科数	18	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	30年度	29年度	28年度
一 般	273	84.7	74.7	64.9
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	100	66.9	67.2	74.9
感 染 症	4	-	-	-
計	377	79.1	72.0	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.9	16.5

設立団体の状況	
人 口(人)	-
決 算 規 模(千円)	-
標 準 財 政 規 模(千円)	-
財 政 力 指 数	-
経 常 収 支 比 率(%)	-
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.7
修正医業収支金額(千円)	5,942,738

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	6,945,726			
1 経 常 収 益	6,945,726			
(1) 医 業 収 益	6,011,002			
入 院 収 益	4,049,562			
外 来 収 益	1,648,314			
診 療 収 入 計	5,697,876			
そ の 他 医 業 収 益	313,126			
(うち他会計負担金)	68,264			
(2) 医 業 外 収 益	934,724			
(うち国・都道府県補助金)	13,697			
(うち他会計補助・負担金)	698,429			
(うち長期前受金戻入)	102,852			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	7,392,911			
2 経 常 費 用	7,382,231			
(1) 医 業 費 用	6,930,734			
職 員 給 与 費	3,629,630	60.4	56.0	57.1
材 料 費	1,446,375	24.1	24.1	23.9
(うち薬品費)	762,824	12.7	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	608,098	10.1	11.1	11.4
減 価 償 却 費	540,051	9.0	9.2	9.5
経 費	1,298,110	21.6	23.2	22.0
(うち委託料)	415,113	6.9	11.3	10.8
研 究 研 修 費	13,785			
資 産 減 耗 費	2,783			
(2) 医 業 外 費 用	451,497			
(うち支払利息)	80,769	1.3	1.6	1.6
(3) 特 別 損 失	10,680			
損 益				
経 常 損 益	-436,505			
純 損 益	-447,185			
累 積 欠 損 金	5,644,564			
経 常 収 支 比 率	94.1		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	86.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	83.7		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	9,139,629
1 固 定 資 産	7,947,174
(1) 有 形 固 定 資 産	7,623,705
(2) 無 形 固 定 資 産	477
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	322,992
2 流 動 資 産	1,192,455
(1) 現 金 及 び 預 金	106,238
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,055,079
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	1,923
(4) 貯 蔵 品	32,761
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	8,045,491
1 固 定 負 債	4,280,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,072,382
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	201,901
2 流 動 負 債	1,975,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	410,683
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	247,012
(6) リ ー ス 債 務	48,764
(7) 一 時 借 入 金	800,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	442,127
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	12,900
3 繰 延 収 益	1,789,114
(1) 長 期 前 受 金	2,583,671
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	794,557
資 本 合 計	1,094,138
1 資 本	5,854,438
2 剰 余 金	-4,760,300
(1) 資 本 剰 余 金	884,264
(2) 利 益 剰 余 金	-5,644,564
負 債 ・ 資 本 合 計	9,139,629
不 良 債 務	372,616
実 質 資 金 不 足 額	372,616
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	731,236	766,693
資 本 勘 定 繰 入	240,185	314,782
計	971,421	1,081,475

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
30 年 度	372,616	6.2
29 年 度	303,883	5.4
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	93.9
健全化法上の資金不足額(千円)	372,616
健全化法上の資金不足比率(%)	6.1
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	372,616
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	6.1

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	和歌山県
				市町村・組合名	公立紀南病院組合
				病院名	紀南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,959 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	352	86.2	84.9	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	50.6	49.9	50.8
感染症	4	7.5	4.0	7.7
計	554	72.9	71.8	71.9
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	11.9	12.3

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.1
修正医業収支金額（千円）	11,164,536

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	12,497,148				
1 経常収益	12,497,148				
(1) 医業収益	11,233,210				
入院収益	6,828,997				
外来収益	3,840,606				
診療収入計	10,669,603				
その他医業収益	563,607				
(うち他会計負担金)	68,674				
(2) 医業外収益	1,263,938				
(うち国・都道府県補助金)	68,194				
(うち他会計補助・負担金)	807,917				
(うち長期前受金戻入)	214,143				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,366,295				
2 経常費用	12,366,295				
(1) 医業費用	11,734,274				
職員給与費	5,950,645	53.0	56.0	49.8	
材料費	3,349,750	29.8	24.1	28.0	
(うち薬品費)	1,989,358	17.7	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,359,167	12.1	11.1	12.8	
減価償却費	361,996	3.2	9.2	8.3	
経費	2,001,144	17.8	23.2	20.7	
(うち委託料)	854,736	7.6	11.3	11.4	
研究研修費	64,231				
資産減耗費	6,508				
(2) 医業外費用	632,021				
(うち支払利息)	64,799	0.6	1.6	1.4	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	130,853				
純損益	130,853				
累積欠損金	-				
経常収支比率	101.1		98.2	99.5	
医業収支比率	95.7		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	94.0		86.0	90.4	

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	14,312,051
1 固定資産	10,155,522
(1) 有形固定資産	10,107,147
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	42,000
2 流動資産	4,156,529
(1) 現金及び預金	2,302,172
(2) 未収金及び未収収益	1,753,967
(3) 貸倒引当金（ ）	6,869
(4) 貯蔵品	107,209
3 繰延資産	-
負債合計	8,957,349
1 固定負債	5,389,911
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,359,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	30,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,025,962
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	715,927
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	363,516
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	899,732
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,541,476
(1) 長期前受金	7,141,405
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	5,599,929
資本合計	5,354,702
1 資本金	2,311,079
2 剰余金	3,043,623
(1) 資本剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	2,666,453
負債・資本合計	14,312,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	831,919	876,591
資本勘定繰入	351,593	412,948
計	1,183,512	1,289,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。